



がんじゃくさん 岩石山 山のほりマップ

岩石山・登山ルート

正面ルート

▲山頂までの高低差:352m 所要時間:約55分
そえだジョイの脇から登山道が始まるルートです。岩石山の特徴でもある花崗岩の岩肌が所々に風化して滑りやすくなった場所もありますが、要所には階段や休憩スペースもあり、よく整備されたルートです。タムシバやヤマツツジなどの花の見どころも多く、歩きやすさと自然が融合した、岩石山のメインストリートとして親しまれているルートです。

滝ルート(針ノ耳ルート)

▲山頂までの高低差:357m 所要時間:約90分
距離も長く、後半は傾斜もきつくなる健脚コース。民家の間を抜け、シイやカンが茂る平坦な林では、たまにシカを見かけることもあります。谷間を進み、人面岩、三ノ滝から徐々に傾斜がきつくなり、二ノ滝からは、急勾配が尾根まで続きます。途中、針ノ耳や天狗岩からの眺望などもあり、休憩も充分取れるでしょう。谷あり尾根ありの変化に富んだコースです。

鷲越ルート(不動滝上~鷲越)

▲鷲越峠までの高低差:152m 所要時間:約20分
添田と津野を結ぶ旧道で、傾斜が緩いので歩きやすいコースです。林道の終点近くに旧道の石畳が残っています。林道終点に出ると林道弓張岳線へ上がる人道があり、山頂への登山口にアクセスしています。

鷲越ルート(鷲越~奥の院)

▲奥の院までの高低差:86m 所要時間:約15分
「馬の背」と呼ばれる山の稜線を、奥の院付近まで一直線に登るルートです。休憩ポイントはありますが、急勾配が少ないので比較的楽に短時間で登ることが出来ます。

巨石群ルート

▲山頂までの高低差:257m 所要時間:約35分
赤村側から山頂まで急勾配を一気に登るコースです。登山口から10分ほどで、巨大な岩が宙づりになったチョッキストーンが現れ、岩の山・岩石山の雄姿を目の当たりにできます。巨石群から山頂付近までは急傾斜が続きますが、八畳岩、大砲岩、国見岩などの巨石が再び迎えてくれます。

※標高は目安の数値です。測る位置により値が変わります。
※所要時間は目安の時間です。歩く速さ、休憩時間により異なります。
※イラストマップは実際の縮尺を強調・歪曲した部分があります。



巨石群ルート登山口
(標高197m)



駐車場から徒歩5分ほどで登山口があります。

福岡県の絶景危機種に指定されるワトカスナは、この林道沿いでも見られます。



鷲越登山スペース横に奥の院への登山道があります。

秋はナツハゼの紅葉も美しくなります。

とても歩きやすい尾根道。鷲越まで車で来れば、山頂まで一番楽な最速コースです。

3~4月、奥の院の下にタムシバの花が群れて咲きます。

日本全国から桜の品種を集めた植栽地。秋に咲く桜も多くなります。



不動滝の上流。沢の横から鷲越ルートがはじまります。

鷲越までは、湿度が高く、ぬかるんでいる場所もあるので足元に注意。

山頂までは急斜面を登るハードな道が続きます。

針ノ耳のすぐ下には鎖をつかんで登る岩場があります。

霧全体に響く「キューン」という音が聞こえたら近くにシカがいます。

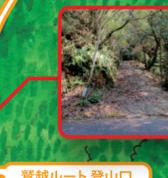


滝ルートの入口は「人面岩」の看板が目印です。



秋になると谷間の斜面に赤い葉をシッリ付けたヤマミズナキが見えます。

一度林道に出ると、すぐにまた山道へ。



不動滝の上流。沢の横から鷲越ルートがはじまります。

鷲越ルート登山口
(標高162m)

展望台

添田公園



そえだジョイ左側に登山口があります。

そえだジョイ

4階に大浴場があるので、山から下りたらここで汗を流してリフレッシュ!

正面ルート登山口
(標高102m)

添田公園駐車場

添田町体育館

添田神社

添田町役場

添田本町

日田道

山口油屋福太郎
添田町めんべい工場
今や福岡土産の定番となった「めんべい」を作っている工場です。商品の購入や工場見学もできます。

中島家住宅
白壁と格子窓が往時の町屋風情を醸した19世紀前半の建築物です。(国指定重要文化財)

流光寺
小倉藩主堀川家の九曜紋が入った総檜造りの山門は岩石城大手門を移設したもの。裏手には城主の居館もあったとぞうです。

中村家住宅
街の醤油屋さんだった家屋。裏手の(包)の紋と3つの大きな漆喰彫りが印象的。(町指定有形文化財)

御成門(おなりもん)
「添田手水」の大庄屋・中村家には、寛政9年(1798)山歩の際に藩主をお迎えした門が残っています。

彦山川

添田町役場

西鉄バス
添田郵便局バス停

JR添田駅
登山道まで徒歩約15分